

【学びとキャリア】京セラ稲盛ライブラリー 吉田博明様にご登壇いただきました

今回は外部講演の回である。

学生にとって価値の高い講演にと考え、京都が生んだ経営者・稲盛和夫をとりあげた。

稲盛和夫は、日本の経営史の中でも希有な存在である。

- ・27歳で、京都で0から京セラという企業を創業し、世界的な大企業に育て上げた(現在、グループ従業員7.8万人)
- ・52歳で現在の au の元になった通信会社を立ち上げ、他の大手と合併させ三大通信のひとつ KDDI に成長させた
- ・78歳で、経営破綻した JAL の再建を政府から依頼され、短期間で再建した



稲盛和夫氏

(京セラ株式会社ホームページより)

現在、このような三冠王を達成した経営者はほかにはいない。



当日の講師は、長年稲盛和夫の研究をしてきた京セラ稲盛ライブラリーの吉田博明氏だ。

ビデオと自分の見聞、研究を交え、稲盛の実像をいきいきと再現してくれた。

稲盛は大きなビジョンをかかげ、毎日を精一杯生きた。

それは、今日一日ならなんとかやれる。それを続けていくと、遠くまで行けるという考えからだ。

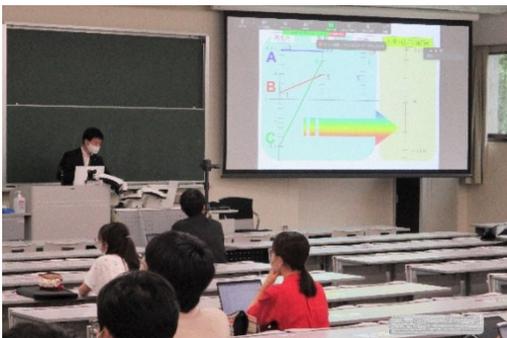
稲盛は自社の経営だけでなく、広く世間に貢献した。経営者を育てる私塾を続け、それは世界に広がった。

稲盛和夫執筆による書籍(共著を含む)の発行部数は1989年の上梓以来、累積で2,000万部を超えた(2000年10月)。特に、海外で発行部数を大きく伸ばした。

しかし、創業地は中京区で、現在も本社は伏見である。多くの企業が東京に移っていく中、稲盛は京都を愛し、京都にとどまっている。私財1000億円以上を投入した財団の賞も「京都賞」である。

京都が生んだ、そして京都を伸ばした稲盛。京都に学ぶものとして、その存在には注目する価値がある。

(授業担当教員 西山昭彦)



授業風景



授業後に学生の質問に答える吉田氏